



▲左から2番目が優一さん。募金は優晴さん(中央)から八巻教育長(右端)へ

「いいたてっ子未来基金はここがいいですか」と飯野出張所を訪れたのは、岐阜県池田町の加藤優一さんと家族・友人の皆さん。数年にわたり継続的に被災地を来訪しているそうです。加藤さんの経営するカフェで集められた募金が、長男・優晴さん(6歳)から八巻義徳教育長に手渡されました。このように今も絶えず届く温かな善意。子どもたちのためにしっかりと役立させていただきます。

「やまゆり保育所」で開かれた夏祭り。甚平や浴衣、手作りの衣装などを着た子どもたちが楽しめました。

会場のホールは、絵の具遊びの作品をアレンジした提灯などで飾られました。子どもたちは、ボーリングや輪投げ、魚釣りやくじ引きなど、先生方が工夫を凝らしたゲームの数々に熱中。夏祭りの雰囲気を存分に味わい、たくさん遊んだ後には、茹でたての甘いトウモロコシを味わいました。

それぞれの遊びを夢中で楽しむことができて子どもたちは大満足の様子でした▶



ひと月のできごとを
振り返ってお知らせします



▲カラフルな壁面に子どもたちの絵がマッチ。ぐんと素敵になった園舎をバックに運動会の練習です(撮影は壁面完成後の9月14日)

草野・飯樋幼稚園の仮設園舎の壁面を鮮やかに塗り替えるプロジェクトが実施されました。この企画はNPO法人「ARTS for HOPE」によるもので、塗り替え作業には全国から集まったボランティア約50人も協力しました。園児たちは、クラスごとに、壁面に飾る絵を制作。マグネット素材のシートにしゃぼん玉・花・鳥を描いて、アーティストらとの活動をのびのびと楽しんでいました。

女性消防隊が震災後初となる「救命講習会」を開催。会場となった飯野学習センターの和室には、隊長はじめ12人の隊員が集まりました。講習会では、救命講習の指導資格を持つ隊員と、飯館分署職員が講師となり、心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の取り扱い訓練を実施。参加した隊員たちは「いざという時に行動できるように」と熱心に訓練に取り組んでいました。



心停止からの蘇生に効果を発揮するAED(自動体外式除細動器)の取り扱い訓練▲

9月の主なできごとと村の動き

- 2日・「松塚地区太陽光発電事業」飯館メガソーラー発電所設備構築工事安全祈願祭(松塚地区現地)
- 飯野方部懇談会(飯野出張所)
- 3日・伊達方部懇談会(保原市民センター)
- 4日・「かーちゃんの力・プロジェクト協議会」の県農業賞受賞(福島市・杉妻会館)
- 7～18日・9月議会定例会(飯野出張所)
- 8日・深谷地区太陽光発電施設安全祈願(綿津見神社)
- 10日・仮設住宅・公的宿舎管理人会議(飯野出張所)
- 11日・台風18号大雨被害対策本部設置(飯野出張所)
- 13日・飯館村敬老会(飯館中学校仮設体育館)
- 福島県市町村対抗軟式野球大会 飯館村チーム初戦(県営あづま球場)
- 16日・災害公営住宅大谷地団地安全祈願祭(草野大谷地地内)
- 24日・村議会第9回臨時会(飯野出張所)
- 1歳6か月児健診(子育て支援センター「すくすく」)
- 25日・第10回農業委員会定例総会(村役場本庁)
- 30日・平成27年度飯館村表彰式(飯野出張所)
- 30日・10月2日・「日本で最も美しい村」連合フェスティバルに参加(長野県木曽町)